

科学の甲子園 3チーム出場 健闘するも・・・

11月4日(日)に、県立総合教育センターにて「第8回科学の甲子園埼玉県大会」が開催されました。1チーム6人で構成され筆記の部と実技の部に挑みました。本校からは物理・化学・生物・地学部の1・2年生17名の計3チームが参加しました。筆記の部では、物理・化学・生物・地学・数学・情報の分野で構成される試験に、専門性を生かし協力して取り組みました。



実技の部では、規定の製作材料を使って、シャトルを飛ばす発射装置を製作し、発射装置からシャトルを3回発射し、壁を越えて的に着地したときの点数を競いました。当日まで入念に準備・対策を行い挑みましたが、惜しくも筆記・実技成績ともに上位入賞とはなりませんでしたが、今回の経験を生かし、上位入賞を目指して来年も挑戦してほしいと思います。

SSH プロジェクト『旧石器研究』の報告

標記のプロジェクトが11月14日に本校を会場として実施されました(参加生徒16名)。まず、本校宮嶋教諭より『岩石の分類とその同定についてー化学分析を中心にー』の講演があり、岩石分類の基礎知識と岩石の化学分析方法について学びました。続いて中村由克先生(明治大学黒曜石研究センター)から『岩石学からアプローチする旧石器



時代の謎』と題して講演をいただき、豊富なスライドと実物標本をもとにどのような岩石が石器に使われているかを詳しく説明していただきました。石器の種類によってそれに適した性質を持った岩石が選択されていること、同じ時代でも石材の種類によって流通圏が異なっていたことが示され、石材の正確な岩石学的同定が太古の人々の生活を明らかにするうえでいかに重要かが明らかとなりました。最後に、中村先生の指導で、実際に打製石器を作る実習をおこないました。岩石をたたいて岩片を剥がし細部を加工してナイフ型石器などを

作成しました。岩片を剥がすのにはコツがいり、なかなか難しかったようです。なお、この実習で用いた石材は本校のために野尻湖ナウマンゾウ博物館館から無償で提供されたものです。この場を借りてお礼申し上げます。

「つくばサイエンスツアー」が行われました。

1年生は、11月29日(木)茨城県のつくば学園都市方面を中心に様々な研究機関を見学する「つくばサイエンスツアー」に行ってきました。このサイエンスツアーは、本校が指定を受けているSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の一環として、恒例行事となっています。日常の授業ではなかなか体験することのできない最先端の科学技術に触れたり、研究者や技術者から直接お話を伺うことができました。多くの生徒が探究心や科学的好奇心をさらに深め、今後の進路決定に役立つ経験ができたことと思います。

